

Wonderful Story

理由を知れば、好きになる "ピーチスノウ"

「総合美」のあくなき追求



エステティックサロン運営を始め、スクール事業、美容商品開発、組織活性化マネジメントなどを手がける株式会社マイキット。人間の「内面」「外面」「心面」から総合美を目指すというアプローチの根底には、独自の色彩人間学「ピーチスノウ」の知見が貫かれている。

人々の日常を幸せにする、新たな美容サービスを

村川氏は、かつて大手総合美容会社に勤務し、エステサロン運営や化粧品販売に従事。国内のみならず、上海・台北・マレーシア・パリなどでも活躍し、約400名の部下を率いてきたキャリアの持ち主である。30年以上の実績を経て退職した際には「もうやり残したことはない」という達成感があり、業界に戻るつもりはなかったという。

村川氏を起業へと後押ししたのは、かつての部下だった。彼は、かつての部下だった。彼は、かつての部下だった。

ティック店舗用のテナントを探してきた上で、村川氏に社長就任を直談判。強い熱意を感じた村川氏は、2009年、故郷の広島にマイキットを設立した。起業時に誓ったのは、お客様はもちろん、働く人が幸せになる会社にあること。

「美容業界のスタッフは若い女性を中心ですが、離職率が高い。売り上げに追われ、強いストレスを感じている人が多いです。起業するからには、家族のように温かい関係で、笑いの絶えない職場にしたいし、自立した女性を応援できる会社になりたい。創業メンバーとそんな理想を語り合ったのを、昨日のことのように思い出します」。

その思いは、社名にも表れている。「MY KIT (マイキット)」は、創業メンバーの頭文字を並べたものであると同時に、スタッフやお客様の理想となる、「私の『き』と『と』」を叶える会社にしよという意味が込められている。店舗運営の意欲がある社員に対して、やりがいのあるポストを創出すべく、「3年で5店舗、5年で10店舗」という目標を掲げ、有言実行した。

「エステティックは、人を幸せにする仕事」だと語る村川氏。

だからこそ、従来のエステサロンに足りない部分も感じていた。「美しさを維持するには、ストレスフリーで心豊かに生きることが大切です。ストレスというのは、仕事や私生活での人間関係に起因することがほとんど。サロンで一時的にリラックスして気持ちよくなっても、日常がストレスフルであれば、根本的な問題解決にはなりません。日々の充足感や幸せをサポートする美容サービスを実現するにはどうしたらいいか、とことん考え抜きました」。

ピーチスノウでは、生年月日から導き出される個性や才能

前向きに生きるための、共存・共生のメソッド

ピーチスノウでは、生年月日

とは、色と香りが普遍的に持つ効果を用いてセラピーを施す理論・技術体系のこと。当時は、可能性を感じたものの時期尚早と考え、自身の仕事に落とし込むことはなかったが、改めて独自に研究。色彩心理学に加え、中国の推命学などの東洋思想との融合を図りながら、理論化する作業に没頭した。そして創業5年目に、独自の色彩人間学「ピーチスノウ」が出来上がった。

村川氏の活動は、事業の枠に留まらない。例えば年に2回、社員とその家族、顧客を招き、300人以上が集まるイベントを開催している。

「文化祭と体育祭、夏祭りが一緒になったような、賑やかな1日だと好評です」。

さらに村川氏は、最大の挑戦になるかもしれないという、次なる展開を考えている。これまではスタッフも顧客も女性を中心で、「女性の自立と幸せ」を大きな事業テーマにしてきたが、その価値を男性に向けても発信していくという。2021年度から男性社員の募集を本格的に開始し、男性向けサービスの展開を模索していく。

「最近では、外見やフレグランスなど、美容に気を配る男性が増えています。男性も、自身の個性を知り、人の個性を認めることで、もっと魅力を増せるはず。男性と女性が互いに尊重しあい、ともに輝けるような価値をプロデュースしていきたいです」。

人それぞれの違いを認め、共存・共生するという村川氏の理念は、性別を超え、人としての「総合美」を目指して磨かれていくに違いない。



広島県広島市に構える本社オフィスにて、「ピーチスノウ」のサービスについて語る村川氏

Interview

株式会社マイキット 代表取締役社長 村川薫・MURAKAWA KAORU

<http://www.mykitt.com>

